

種名	ツ ュ ク サ <u>Commelina communis</u> 				
	分類	被子植物単子葉植物綱ツユクサ科	俗称		生活型 一年草
分布	日本全土、アジアに分布する。				
形態	茎は下部が倒伏して密に分枝し、上部は立ち上がり、高さ30～50cm。葉は卵状披針形で長さ5～8cm、幅1～2.5cm、鋭尖頭で毛は無い。苞は広心臓形で長さ約2cmで二つに内側へ折れ、先端は円形である。				
類似種					
生息場所	路傍や草地、川原、畑のまわりなどに生える。				
繁殖	花期は6～10月、朝早くに咲き、花弁は3個、うち2個が青色、円形で大きく、1個はひじょうに小さい。蒴果は広楕円形、長さ6～7mm。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物Ⅰ 双子葉植物』を改変					